



たくましく ゆたかに 大地を吹く 風になれ

simba 獅子波

The Nairobi Japanese School

P.O. Box 948 – Karen 00502 Nairobi Kenya

Tel : 0202 – 513 – 321

E-mail : njs.main@gmail.com

2019年 5月号
No.2

学校経営「5つの重点」

ナイロビ日本人学校長 滝川敦善

4月27日(土)、午前中に授業参観の後学校経営方針説明会、学年部懇談会、PTA総会、開校50周年記念事業実行委員会が行われ、そして午後からは、新任教員歓迎会が行われました。PTAの皆様におかれましては、歓迎会の事前準備や運営を含め、心温まる歓迎会を開催いただいたことに、改めてお礼申し上げます。

さて、学校経営方針説明会では、下の5つの重点をお話しさせていただきました。

学校経営5つの重点

- 1 子どもの成長を軸足に、授業改善を図る
- 2 教師が互いに信頼し、高め合う
- 3 限られた教育条件を最大限に生かす
- 4 学校の役割と責任を果たす
- 5 開校50周年事業と教育活動を効果的に連動し、教育効果を高める

特に、重点の1については、時間をかけてお話しさせていただきました。子ども達にとって、学校生活のほとんどの時間は授業時間であり、授業は子ども達の成長を促すものでなければなりません。つまり、子どもの成長を軸足にして、よりよい授業を工夫することは、私達日本人学校の教師に課せられた使命であり、学校経営の柱となるものです。私たちは、子ども達が「分かった」「できるようになった」と実感する授業を重ねてまいります。どうか、1時間1時間の授業の積み重ねと、子ども達の成長の様子をご覧ください、本校を評価いただければ幸いです。

また、重点の5については、学習目標と照らし合わせ、より教育効果が高まると判断した場合は、教育活動と50周年事業と連動していきます。例えば、5月9日の開校記念日に開校50周年を祝う「ハッピーバースデー集会」を行います。これは、道徳の内容項目でもある「集団との関わり」の中で、「学校を愛する心を深められるよう学級や学校全体に目を向けさせること」と合致しています。本集会を通して、50年の歴史に触れたり、本校の卒業生の思いに心を寄せたりすることで、よりナイロビ日本人学校に対する思いを深めさせることをねらい、道徳の時間として実施します。

これから年間を通して記念行事を行っていきます。単なる50年のお祝い行事ではなく、子ども達の成長としっかり結びつけて進めてまいります。

本を大好きになって、国語力を身につけよう！！

ナイロビ日本人学校 前田英美



日本人学校では、入学してからの1か月間は、お弁当を食べ、昼休みにしっかり遊んだ後、少し早い目に下校しています。子どもたちは、すぐに帰りの準備をすることができるので、バスが出発するまでを『読み聞かせ』の時間としていました。毎日、その日の日直

さんが絵本を選びます。始めは、つまらなそうに外を見たり、他の事をしたりしていた子どもたちですが、数日過ぎると、自分が選んだ本ということで最後まで聞き入ったり、他の子が選んだお話がどんなのか気になり真剣に聞いたりできるようになっています。

昨年度もそうでしたが、子どもたちは、読み聞かせが大好きです。何度か読んでもらったことのある話でも、前に読んでもらったことを思い出しながら聞くので、今度は自分で読んでみよう。という意欲にもつながっています。

これからも、読み聞かせで、子どもたちにたくさんの言葉のシャワーを浴びさせ、それらを使い『書く』ことへとつなげていきたいと思っています。是非ご家庭でも、読書を一緒にしてみてください。毎日、寝る前の5分に読み聞かせでも、隣に座ってそれぞれの読書でも、同じ本を交代で読むでも、低学年の時には、様々な場面で本に親しんで欲しいです。

読み書きの力は、「国語」という教科の枠をこえ、すべての教科に関わる非常に大事な力だと考えています。国語力は、一朝一夕で身につくものではありません。毎日の生活の中で、地道に積み上げていかなければならないものです。先程述べた、読書もその一つです。

しかし、いったん身につけた国語力は、失われることなく、ずっと維持できます。これが国語力の特徴です。だからこそ、低学年のうちから最優先で取り組んでいく必要があるのです。低学年のうちは、読むことと書くことに慣れることが目標です。最初のうちは、長文音読もたどたどしく、作文も1行書くのがやっとというようなことも少なくありません。ここで大切なのは、ほめることです。注意するのは逆効果です。読むのも書くのも得意なのだという暗示をかけることが大事なのです。どの子どももその子どもなりのペースで、必ず国語が得意になるはずなのです。たとえ、作文が1行しか書けなかったとしても、自信を持ってほめることです。ほめられながら力をつけてきた子どもは、自分は読むことや書くことが得意なのだという思いがあるので、その後も国語の勉強に積極的に取り組みます。中学年から始まる、長文の感想文課題も難なくこなしてしまいます。

国語力は成長とともに自然に身につくものではありません。低学年のうちから、読むこと、書くことを生活の中に組み込んでおく必要があります。

昨年度の取り組みでは、読む力から話す力をつけました。

読書（図書）の時間に、まず、本を選びます。この時に、どうしてこの本を選んだかを話してもらいます。例えば、「題名が面白そうなので選びました。」「〇〇さんが前に読んでいたので選びました。」などと話します。



その後、読書をします。読書した後は、本のあらすじ、一番心に残った場面などを話します。ですので、読書がしっかり出来ていないと、話すことができません。始めのうちは、何を話して良いのか分からない子どももいました。そのような時には、こちらから質問をするようにしました。

何度となく、繰り返していくと、みんなの前で躊躇なく話せるようになるだけでなく、それだけでなく、頭の中で順序立てて話をするようになるようになります。学年の終わりには、子どもたちから、「ブックトークをしたい。」とリクエストがくるようになっていました。1時間のうちに、何度も何度も本を取り換えていた子どもも、じっくり1冊の本と向き合うことができるようになりました。



2019年5月9日。本校は、今年度開校50周年を迎えます。昨年度から、実行委員会を立ち上げ、この50周年を盛り上げようと様々な取り組みをスタートさせています。その一つに、50周年記念Tシャツがあります。昨年度から販売させていただいているTシャツですが、たくさんの方に購入いただき、いろいろなところで着ていただいています。

今年度も、先日、学校内での配布文書や日本人会メールでご案内させていただきました通り、今月からまた注文の受付を開始しました。また、日本人学校に在庫もあります。学校へお立ち寄りの際にはぜひご覧ください。

さらに、今年度、革製のペンケースも作成し、販売を開始しています。50周年限定で、ケニアの国旗と同じ、黒・赤・緑の3色を使って2種類のペンケースを準備しました。こちらも日本人学校で購入・注文することができます。

ぜひ、ナイロビ日本人学校の50周年を盛り上げるために、皆様のご協力をいただけると幸いです。

Ｔシャツ!



大人用6色（白・紺・黄・赤・黒・オリーブ）、子供用5色（白・紺・黄・赤・ピンク）

ペンケース!



Aタイプ（緑×黒 赤ジッパー）



Bタイプ（赤×緑 黒ジッパー）



写真と実物では多少色が異なります。

5月後半の予定

- 15日（水）：第2回避難訓練
（登校時バス事故想定）
- 17日（金）：4年社会見学（KK セキュリティ）
- 20日（月）：ジャリブ②
- 21日（火）：キジャナ・アナジャリ交流
- 22日（水）：フリー参観日
（日本人会の方どなたでも参観可）
- 24日（金）：校内研究・研修会
- 25日（日）：日本人会懇親会
- 27日（月）：ジャリブ③
- 29日（水）：内科検診・心電図

6月前半の予定

- 3日（月）：ラマダン終わり
- 5日（水）：児童生徒集会
- 7日（金）：校内研究・研修会
- 8日（土）：運営委員会、PTA 役員会
親子スポーツ
- 10日（月）：運動会特別日課開始
- 20日（木）：運動会予行
- 21日（金）：運動会準備
- 22日（土）：運動会